# ダイワ米国国債ファンド ーラダー10-

(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

# 運用報告書(全体版)

# 第12期

(決算日 2019年9月10日)

(作成対象期間 2019年3月12日~2019年9月10日)

## ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

	1 - 1 - 1 - 1 - 1				
商品分類	追加型投信/海外/債券				
信託期間	約9年11カ月間(2	2013年9	月27日~2023年9月8日)		
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長 をめざして運用を行ないます。				
主要投資	ベビーファンド		フ米国トレジャリー・ -ファンドの受益証券		
対象	ダ イ ワ 米 国 トレジャリー・ マザーファンド	米国国	固債		
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率		無制限		
粗入削胶	マザーファンドの 株式組入上限比率		純資産総額の10%以下		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等の中から分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。				

# 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申 し上げます。

当ファンドは、残存期間の異なる米国国 債に投資し、安定した収益の確保と信託財産 の着実な成長をめざしております。当作成期 につきましてもそれに沿った運用を行ないま した。ここに、運用状況をご報告申し上げま す。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、 お願い申し上げます。

# 大和投資信託

**Daiwa Asset Management** 

大和証券投資信託委託株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 お問い合わせ先 (コールセンター) TEL 0120-106212 (営業日の9:00~17:00) https://www.daiwa-am.co.jp/

<5611> <5612>

#### 為替ヘッジあり

# 最近5期の運用実績

決 算 期	基	準 価	額	FTSE 米国債 (米ドル	インデックス ベース)	公社債	債 券	純資産
	(分配落)	税込み 分配金	期 中騰落率	(参考指数)	期 中騰落率	組入比率	先物比率	総額
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期末(2017年9月11日)	9, 508	110	2. 0	10, 992	4. 1	96. 1	_	5, 585
9期末(2018年3月12日)	9, 057	60	△ 4.1	10, 635	△ 3.3	99. 0	_	6, 828
10期末(2018年9月10日)	8, 915	80	△ 0.7	10, 734	0. 9	97. 8	_	6, 380
11期末(2019年3月11日)	8, 927	80	1.0	11, 038	2. 8	95. 9	_	6, 014
12期末(2019年9月10日)	9, 138	100	3. 5	11, 823	7. 1	98. 2	_	6, 184

- (注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) FTSE 米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE 米国債インデックス(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSE 米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
- (注7) 債券先物比率は買建比率 売建比率です。



# 基準価額等の推移について



- \*分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります(分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

## ■基準価額・騰落率

期 首:8,927円

期 末:9,138円(分配金100円) 騰落率:3.5%(分配金込み)

#### ■基準価額の主な変動要因

米国国債に投資し、為替ヘッジをした結果、金利が低下(債券価格は上昇)したことにより、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

# ダイワ米国国債ファンド -ラダー10- (為替ヘッジあり)

年月日	基準価額		FTSE 米国債 (米ドル	インデックス ベース)	公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	祖八山平	兀彻山平
	円	%		%	%	%
(期首) 2019年 3 月11日	8, 927	_	11, 038	_	95. 9	_
3月末	9, 009	0. 9	11, 203	1.5	95. 6	_
4月末	8, 955	0. 3	11, 135	0.9	96. 3	_
5月末	9, 054	1. 4	11, 359	2. 9	94. 6	_
6月末	9, 147	2. 5	11, 520	4. 4	96. 7	_
7月末	9, 104	2. 0	11, 492	4. 1	97. 6	_
8月末	9, 278	3. 9	11, 890	7. 7	96. 3	_
(期末) 2019年 9 月10日	9, 238	3. 5	11, 823	7. 1	98. 2	_

<sup>(</sup>注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

# 投資環境について

 $(2019, 3, 12 \sim 2019, 9, 10)$ 

#### ■米国債券市況

米国金利は低下しました。

景況感の悪化などを背景に世界的な景気減速懸念が意識されたことや、米中貿易交渉の不透明感の高まりなどを受けて、金利は低下しました。また、このような環境下で FRB (米国連邦準備制度理事会)は利下げに踏み切るなど、緩和的な金融政策も金利低下要因となりました。

# 前作成期末における「今後の運用方針」

#### ■当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

#### ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態で高位に維持します。

# ポートフォリオについて

 $(2019, 3, 12 \sim 2019, 9, 10)$ 

#### ■当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れました。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

## ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

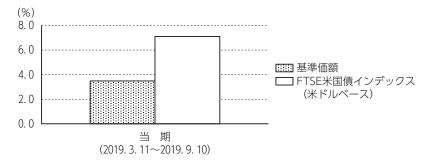
米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態で高位に維持しました。

# ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。 以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



# 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金 (税込み) | 欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程 (1万口当り)」をご参照ください。 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

#### ■分配原資の内訳(1万口当り)

	項目		当期 2019年3月12日 ~2019年9月10日
当期分配	(税込み)	(円)	100
	対基準価額比率	(%)	1. 08
	当期の収益	(円)	90
	当期の収益以外	(円)	10
翌期繰越分	分配対象額	(円)	102

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

#### ■収益分配金の計算過程(1万口当り)

	/J L L //	
項目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	1	95. 97円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		96. 01
(d) 分配準備積立金	✓	10. 45
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)		202. 44
(f) 分配金		100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		102. 44
	•	•

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



# 今後の運用方針

#### ■当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

#### ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態で高位に維持します。

# 1万口当りの費用の明細

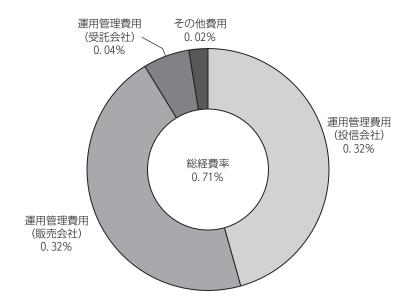
項目	当 (2019. 3. 12~	期 ~2019. 9. 10)	項目の概要			
–	金額	比 率				
信託報酬	31円	0. 345%	信託報酬=当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は9,086円です</b> 。			
(投信会社)	(15)	(0. 162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価			
(販売会社)	(15)	(0. 162)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、□座内での各ファンドの 管理、購入後の情報提供等の対価			
(受託銀行)	(2)	(0. 022)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価			
売買委託手数料	_	_	売買委託手数料=当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益 権□数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料			
有価証券取引税	_	_	有価証券取引税=当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益 権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金			
その他費用	1	0.009	その他費用=当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権□数			
(保管費用)	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および 資金の送金・資産の移転等に要する費用			
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用			
(その他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用			
合 計	32	0. 354				

- (注1) 当作成期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便 法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

# 参考情報 —

## ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当り)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.71%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。

#### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年3月12日から2019年9月10日まで)

	嗀		定		解		約	
		数	金	額		数	金	額
ダイワ米国 トレジャリー・ マザーファンド	146	∓□ , 453	185	千円,000	5	∓□ 5, 485		千円 7,000

<sup>(</sup>注) 単位未満は切捨て。

#### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

# ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種	類	期	首		当其	月	末	
悝	炔		数		数	評	価	額
			Ŧ□		Ŧ0			千円
ダイワ米国ト マザーファン		4, 6	75, 830	4, 8	16, 798	6,	161	, 648

<sup>(</sup>注) 単位未満は切捨て。

#### ■投資信託財産の構成

2019年9月10日現在

項目	当 期	末
	評価額	比 率
	千円	%
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド	6, 161, 648	97. 9
コール・ローン等、その他	134, 155	2. 1
投資信託財産総額	6, 295, 804	100. 0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.45円です。
- (注3) ダイワ米国トレジャリー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨 建純資産(9,444,373千円)の投資信託財産総額(9,469,538千円)に対す る比率は、99.7%です。

#### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月10日現在

	2019年3月10日現在
項目	当 期 末
(A)資産	12, 370, 191, 869円
コール・ローン等	110, 554, 446
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド (評価額)	6, 161, 648, 734
未収入金	6, 097, 988, 689
(B)負債	6, 185, 532, 912
未払金	6, 096, 362, 357
未払収益分配金	67, 680, 134
未払信託報酬	21, 236, 865
その他未払費用	253, 556
(C)純資産総額 (A – B)	6, 184, 658, 957
<b>一</b> 元本	6, 768, 013, 423
次期繰越損益金	△ 583, 354, 466
(D)受益権総口数	6, 768, 013, 423□
1万口当り基準価額(C/D)	9, 138円

- \*期首における元本額は6,737,238,238円、当作成期間中における追加設定元本額は30,775,185円、同解約元本額は0円です。
- \* 当期末の計算口数当りの純資産額は9.138円です。
- \*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は583.354.466円です。

#### ■損益の状況

当期 自 2019年 3 月12日 至 2019年 9 月10日

百 口	1	当	₩D
項 目		_=_	期
(A)配当等収益	$\triangle$		37, 815円
受取利息			331
支払利息	$\triangle$		38, 146
(B)有価証券売買損益			232, 366, 972
売買益			303, 034, 097
売買損	$\triangle$		70, 667, 125
(C)信託報酬等	$\triangle$		21, 510, 530
(D) 当期損益金 (A + B + C)			210, 818, 627
(E)前期繰越損益金	$\triangle$		440, 520, 821
(F)追加信託差損益金	$\triangle$		285, 972, 138
(配当等相当額)	(		64, 983, 543)
(売買損益相当額)	(△		350, 955, 681)
(G)合計 (D+E+F)	$\triangle$		515, 674, 332
(H)収益分配金	$\triangle$		67, 680, 134
次期繰越損益金(G+H)	$\triangle$		583, 354, 466
追加信託差損益金	$\triangle$		285, 972, 138
(配当等相当額)	(		64, 983, 543)
(売買損益相当額)	(△		350, 955, 681)
分配準備積立金			4, 349, 524
繰越損益金	$\triangle$		301, 731, 852

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照 ください。

#### ■収益分配金の計算過程(総額)

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	64, 956, 076円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	64, 983, 543
(d) 分配準備積立金	7, 073, 582
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	137, 013, 201
(f) 分配金	67, 680, 134
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	69, 333, 067
(h) 受益権総口数	6, 768, 013, 423

		収	益	分	配	£	Ĩ	の	お	知	5	t	
1	万		当	Ŋ	分	配	金					100円	

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)
- を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。 ・普通分配金については、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収が行なわれ、 申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

#### 為替ヘッジなし

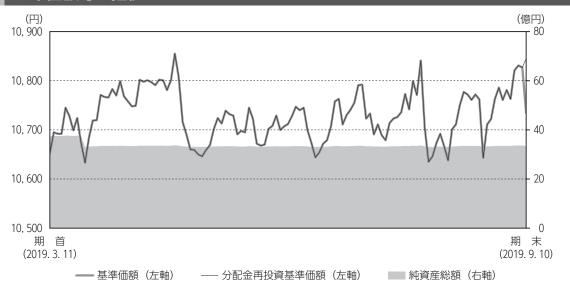
# 最近5期の運用実績

決算期	基	準 価	額	FTSE 米国債 (円割	インデックス 奐算)	公社債	債 券	純資産
// 异 粉	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中騰落率	組入比率	先物比率	総額
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期末(2017年9月11日)	10, 774	110	△ 3.0	12, 045	△ 2.1	98. 5	_	6, 787
9期末(2018年3月12日)	10, 176	90	△ 4.7	11, 493	△ 4.6	98. 1	_	4, 046
10期末(2018年9月10日)	10, 486	120	4. 2	12, 033	4. 7	97. 7	_	3, 766
11期末(2019年3月11日)	10, 652	110	2. 6	12, 376	2. 9	97. 7	_	3, 735
12期末(2019年9月10日)	10, 735	110	1.8	12, 837	3.7	97. 7	_	3, 335

- (注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) FTSE 米国債インデックス(円換算)は、FTSE 米国債インデックス(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として 大和投資信託が計算したものです。FTSE 米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券イ ンデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有して います。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
- (注7) 債券先物比率は買建比率 売建比率です。

# 運用経過

# 基準価額等の推移について



- \*分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります(分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

# ■基準価額・騰落率

期 首:10,652円

期 末:10,735円(分配金110円)

騰落率:1.8% (分配金込み)

# ■基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、為替市場では円高米ドル安が進行した一方で、金利が低下(債券価格は上昇)したことにより、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

# ダイワ米国国債ファンド -ラダー10- (為替ヘッジなし)

年月日	基準	価 額	FTSE 米国債 (円担	インデックス 換算)	公 社 債組入比率	債 券 先物比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	祖八山平	<b>元初山<del>竿</del></b>
	円	%		%	%	%
(期首) 2019年 3 月11日	10, 652	_	12, 376	_	97. 7	-
3月末	10, 771	1. 1	12, 565	1. 5	97. 9	_
4月末	10, 808	1. 5	12, 586	1. 7	97. 8	_
5月末	10, 723	0. 7	12, 552	1. 4	97. 8	_
6月末	10, 707	0. 5	12, 547	1. 4	98. 1	_
7月末	10, 771	1. 1	12, 616	1. 9	98. 0	_
8月末	10, 786	1. 3	12, 792	3. 4	98. 4	_
(期末) 2019年 9 月10日	10, 845	1. 8	12, 837	3. 7	97. 7	_

<sup>(</sup>注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

# 投資環境について

 $(2019, 3, 12 \sim 2019, 9, 10)$ 

#### ■米国債券市況

米国金利は低下しました。

景況感の悪化などを背景に世界的な景気減速懸念が意識されたことや、米中貿易交渉の不透明感の高まりなどを受けて、金利は低下しました。また、このような環境下で FRB (米国連邦準備制度理事会)は利下げに踏み切るなど、緩和的な金融政策も金利低下要因となりました。

#### ■為替相場

為替市場では、円高米ドル安が進行しました。

景況感の悪化などを背景とした世界的な景気減速懸念や、米中貿易交渉の不透明感などを受けて、市場ではリスク回避姿勢が高まるとともに円高米ドル安が進行しました。また、日銀が金融政策を維持する一方で、FRB(米国連邦準備制度理事会)が利下げを実施するなど、金融政策スタンスの違いも円高米ドル安要因となりました。

# 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れます。

# ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の 投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態で高位に維持します。

# ポートフォリオについて

 $(2019, 3, 12 \sim 2019, 9, 10)$ 

#### ■当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れました。

#### ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

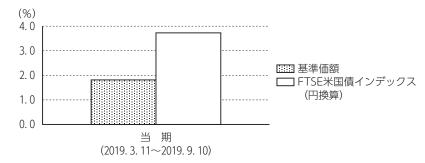
米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の 投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態で高位に維持しました。

# ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。 以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



# 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)|欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

#### ■分配原資の内訳(1万口当り)

			- /
	項目		当期 2019年3月12日 ~2019年9月10日
当期分配	記金(税込み)	(円)	110
	対基準価額比率	(%)	1. 01
	当期の収益	(円)	94
	当期の収益以外	(円)	16
翌期繰越分	分配対象額	(円)	1, 808

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

#### ■収益分配金の計算過程(1万口当り)

	,,,,,,	
項目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	106.38円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		1, 398. 81
(d) 分配準備積立金	✓	412. 84
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)		1, 918. 04
(f) 分配金		110.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		1, 808. 04

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



# 今後の運用方針

#### ■当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れます。

#### ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の 投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態で高位に維持します。

# 1万口当りの費用の明細

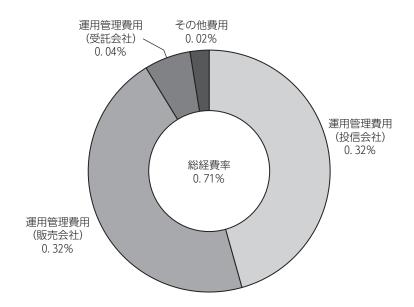
項目		<b>期</b> ~2019. 9. 10)	項目の概要
	金額	比 率	
信託報酬	37円	0. 345%	信託報酬=当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,730円です。
(投信会社)	(17)	(0. 162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(17)	(0. 162)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの 管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0. 022)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	_	_	売買委託手数料=当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	_	_	有価証券取引税=当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.009	その他費用=当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および 資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	38	0. 354	

- (注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権□数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

# 参考情報 —

## ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当り)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.71%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。

#### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年3月12日から2019年9月10日まで)

	設		定		解		約	
		数	金	額		数	金	額
ダイワ米国 トレジャリー・ マザーファンド		∓□ —		刊 —	372	∓□ 2, 088	467	千円', 800

<sup>(</sup>注) 単位未満は切捨て。

#### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

#### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種	類	期	首		当其	月	末	
俚	枳		数		数	評	価	額
			Ŧ0		Ŧ0			千円
ダイワ米国ト マザーファン		2, 9	57, 705	2, 5	85, 616	3,	307	, 520

<sup>(</sup>注) 単位未満は切捨て。

#### ■投資信託財産の構成

2019年9月10日現在

項目	当 期	末		
	評価額	比 率		
	千円	%		
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド	3, 307, 520	97. 8		
コール・ローン等、その他	73, 950	2. 2		
投資信託財産総額	3, 381, 471	100. 0		

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.45円です。
- (注3) ダイワ米国トレジャリー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨 建純資産 (9,444,373千円) の投資信託財産総額 (9,469,538千円) に対す る比率は、99.7% です。

#### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月10日現在

	2017年 7 / 3 10 日 彩 1 上
項目	当 期 末
(A)資産	3, 381, 471, 356円
コール・ローン等	73, 950, 680
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド (評価額)	3, 307, 520, 676
(B)負債	45, 959, 257
未払収益分配金	34, 179, 738
未払信託報酬	11, 640, 652
その他未払費用	138, 867
(C)純資産総額 (A – B)	3, 335, 512, 099
元本	3, 107, 248, 999
次期繰越損益金	228, 263, 100
(D)受益権総口数	3, 107, 248, 999□
1万口当り基準価額(C/D)	10, 735円

<sup>\*</sup>期首における元本額は3,507,248,999円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は400,000,000円です。

#### ■指益の状況

当期 自 2019年 3 月12日 至 2019年 9 月10日

TA D		MZ	₩D
項 目		当	期
(A)配当等収益	$\triangle$		6, 090円
受取利息			116
支払利息	$\triangle$		6, 206
(B)有価証券売買損益			71, 718, 437
売買益			72, 569, 235
売買損	$\triangle$		850, 798
(C)信託報酬等	$\triangle$		11, 780, 812
(D) 当期損益金 (A+B+C)			59, 931, 535
(E)前期繰越損益金	$\triangle$		232, 136, 304
(F)追加信託差損益金			434, 647, 607
(配当等相当額)	(		394, 389, 589)
(売買損益相当額)	(		40, 258, 018)
(G)合計 (D+E+F)			262, 442, 838
(H)収益分配金	$\triangle$		34, 179, 738
次期繰越損益金(G+H)			228, 263, 100
追加信託差損益金			434, 647, 607
(配当等相当額)	(		394, 389, 589)
(売買損益相当額)	(		40, 258, 018)
分配準備積立金			127, 156, 760
繰越損益金	$\triangle$		333, 541, 267

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照 ください。

<sup>\*</sup>当期末の計算口数当りの純資産額は10,735円です。

#### ■収益分配金の計算過程(総額)

項目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	33, 055, 743円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	434, 647, 607
(d) 分配準備積立金	128, 280, 755
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	595, 984, 105
(f) 分配金	34, 179, 738
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	561, 804, 367
(h) 受益権総口数	3, 107, 248, 999□

	収	益	分	配	<del>1</del>		の	お	知	6	t	
1 万		当	Ŋ	分	配	金					110円	

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)
- を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。 ・普通分配金については、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収が行なわれ、 申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

#### ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

#### <補足情報>

当ファンド(ダイワ米国国債ファンド-ラダー10-(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし))が投資対象としている「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」の決算日(2019年3月11日)と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日(2019年9月10日)現在におけるダイワ米国トレジャリー・マザーファンドの組入資産の内容等を21~22ページに併せて掲載いたしました。

#### ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンドの主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2019年3月12日から2019年9月10日まで)

買		売 付	
銘 柄	金額	銘 柄	金 額
	千円		千円
United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2.625% 2029/2/15	377, 576	United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2% 2025/8/15	381, 105
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2022/8/15	344, 768	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.5% 2023/8/15	333, 678
United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2. 375% 2024/8/15	328, 218	United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2. 125% 2021/8/15	270, 717
United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2. 375% 2029/5/15	301, 992	United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2. 25% 2027/8/15	163, 537
United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2.625% 2020/8/15	267, 848	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2027/2/15	88, 297
United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2.875% 2028/8/15	256, 186	United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2% 2023/2/15	86, 181
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2026/8/15	181, 499	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/2/15	85, 512
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.125% 2025/5/15	52, 092	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.75% 2024/2/15	84, 380
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3.5% 2020/5/15	38, 705	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.375% 2027/5/15	81, 273
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3.625% 2020/2/15	33, 738	United States Treasury Note/Bond(アメリカ)3.625% 2021/2/15	81, 044

<sup>(</sup>注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

#### ■組入資産明細表

下記は、2019年9月10日現在におけるダイワ米国トレジャリー・マザーファンド(7,402,415千口)の内容です。

#### (1) 外国(外貨建)公社債(通貨別)

				2019年 9 月10日現在						
	区 八 短 五 全 短		額面金額	評価	組入比率	うちBB格 以下組入	残存期間別組入比率			
	区 分	))	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	祖八儿学		5年以上	2年以上	2年未満
Г			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
	アメリカ		83, 988	86, 837	9, 330, 680	98. 5	_	49. 1	29. 6	19. 8

<sup>(</sup>注1) 邦貨換算金額は、2019年9月10日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

<sup>(</sup>注2) 単位未満は切捨て。

<sup>(</sup>注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

<sup>(</sup>注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

<sup>(</sup>注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (2)外国(外貨建)公社債(銘柄別)

					U134 3 F	10日現在			
区	分	銘	柄	種類	年利率	額面金額	評 位	額	償還年月E
	カ	並合	11/3	性規	- 千利辛	祖 山 立 祖	外貨建金額	邦貨換算金額	1貝 湿 干 力 口
アメリカ					%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ			Treasury Note/Bond	国債証券	3. 3750	2, 107	2, 112	226, 954	2019/11/1
			Treasury Note/Bond	国債証券	3. 6250	1, 253	1, 262	135, 623	2020/02/1
			Treasury Note/Bond	国債証券	3. 5000	2, 094	2, 117	227, 477	2020/05/1
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 6250	3, 204	3, 228	346, 875	2020/08/1
		United States	Treasury Note/Bond	国債証券	2. 6250	2, 426	2, 450	263, 319	2020/11/1
		United States	Treasury Note/Bond	国債証券	3. 6250	3, 354	3, 446	370, 308	2021/02/1
		United States	Treasury Note/Bond	国債証券	3. 1250	1, 838	1, 883	202, 359	2021/05/1
		United States	Freasury Note/Bond	国債証券	2. 1250	927	936	100, 574	2021/08/1
			Freasury Note/Bond	国債証券	2. 0000	2, 173	2, 192	235, 557	2021/11/1
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 0000	1, 192	1, 204	129, 470	2022/02/1
			Freasury Note/Bond	国債証券	1. 7500	2, 067	2, 078	223, 373	2022/05/1
			Treasury Note/Bond	国債証券	1. 6250	2, 287	2, 295	246, 600	2022/11/1
			Freasury Note/Bond	国債証券	2. 0000	3, 592	3, 651	392, 321	2023/02/1
			Treasury Note/Bond	国債証券	1. 7500	2, 624	2, 646	284, 393	2023/05/1
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 5000	111	115	12, 380	2023/03/
								·	
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 7500	1, 692	1, 777	190, 979	2023/11/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 7500	1, 023	1, 078	115, 854	2024/02/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 5000	2, 374	2, 481	266, 603	2024/05/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 3750	3, 215	3, 348	359, 753	2024/08/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 2500	2, 389	2, 478	266, 262	2024/11/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 0000	3, 412	3, 497	375, 839	2025/02/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 1250	2, 332	2, 408	258, 774	2025/05/
		United States	Treasury Note/Bond	国債証券	2. 0000	289	296	31, 860	2025/08/
		United States	Treasury Note/Bond	国債証券	2. 2500	1, 878	1, 955	210, 161	2025/11/
		United States	Treasury Note/Bond	国債証券	1. 6250	1, 323	1, 328	142, 788	2026/02/
		United States	Freasury Note/Bond	国債証券	1. 6250	1, 929	1, 937	208, 209	2026/05/
			Freasury Note/Bond	国債証券	1. 5000	3, 466	3, 452	370, 995	2026/08/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 0000	2, 550	2, 626	282, 236	2026/11/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 2500	2, 435	2, 551	274, 209	2027/02/
			Freasury Note/Bond	国債証券	2. 3750	1, 722	1, 822	195, 812	2027/05/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 2500	1, 580	1, 658	178, 191	2027/03/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 2500	2, 375	2, 495	268, 091	2027/00/
					2. 7500	2, 3/3 870	948		
			Freasury Note/Bond	国債証券				101, 967	2028/02/
			Freasury Note/Bond	国債証券	2. 8750	2, 310	2, 547	273, 688	2028/05/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 8750	2, 400	2, 651	284, 874	2028/08/
			Treasury Note/Bond	国債証券	3. 1250	1, 750	1, 973	212, 085	2028/11/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 6250	3, 405	3, 701	397, 763	2029/02/
			Treasury Note/Bond	国債証券	2. 3750	2, 710	2, 890	310, 571	2029/05/
		United States	Treasury Note/Bond	国債証券	1. 6250	70	70	7, 524	2029/08/
		United States	Treasury Note/Bond	国債証券	1. 5000	3, 240	3, 238	347, 988	2022/08/
A =1	銘柄数		40銘柄						
合 計	金額					83, 988	86, 837	9, 330, 680	

<sup>(</sup>注 1) 邦貨換算金額は、2019年 9 月10日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

<sup>(</sup>注2)額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド 運用報告書 第6期 (決算日 2019年3月11日)

(作成対象期間 2018年3月13日~2019年3月11日)

ダイワ米国トレジャリー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

#### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	運 用 方 針 安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして安定運用を行ないます。						
主要投資対象	米国国債						
株式組入制限	純資産総額の10%以下						

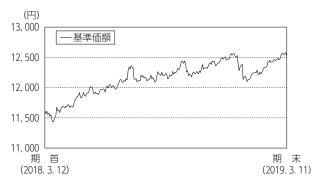
# 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

https://www.daiwa-am.co.jp/

#### ■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準	価額	FTSE :	米国債 ス (円換算)	公社債	債 券
		騰落率	(参考指数)	騰落率	組入比率	先物比率
	円	%		%	%	%
(期首) 2018年 3 月12日	11, 618	_	11, 493	_	99. 1	_
3月末	11, 620	0.0	11, 527	0.3	99.0	_
4月末	11, 849	2. 0	11, 731	2. 1	98. 2	_
5月末	11, 885	2. 3	11, 790	2. 6	98. 6	_
6月末	12, 095	4. 1	12, 009	4. 5	98. 4	_
7月末	12, 109	4. 2	11, 998	4. 4	98. 2	_
8月末	12, 197	5. 0	12, 099	5. 3	98. 6	_
9月末	12, 388	6. 6	12, 263	6. 7	98. 4	_
10月末	12, 378	6. 5	12, 203	6. 2	98. 2	_
11月末	12, 471	7. 3	12, 290	6. 9	98. 6	_
12月末	12, 386	6. 6	12, 259	6.7	98. 4	_
2019年1月末	12, 225	5. 2	12, 079	5. 1	98. 2	_
2月末	12, 464	7. 3	12, 313	7. 1	98. 6	_
(期末) 2019年 3 月11日	12, 519	7. 8	12, 376	7. 7	98. 5	_

- (注1)騰落率は期首比。
- (注2) FTSE 米国債インデックス (円換算) は、FTSE 米国債インデックス (米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSE 米国債インデックス (米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用 しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。 上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
- (注6) 債券先物比率は買建比率 売建比率です。

#### 《運用経過》

#### ◆基準価額等の推移について

【基進価額・騰落率】

期首:11,618円 期末:12,519円 騰落率:7.8%

#### 【基準価額の主な変動要因】

米国国債に投資した結果、金利が低下(債券価格は上昇)したこと や為替相場において円安が進行したことなどから、基準価額は上昇し ました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

#### ◆投資環境について

#### ○米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成期前半の米国金利は上昇しました。米国と中国の間での貿易摩擦が緩和されるとの期待を受けた市場のリスク回避姿勢の後退や、FRB(米国連邦準備制度理事会)による利上げの実施などが、金利上昇要因となりました。しかし2018年11月以降は、FRBによる利上げ期待の後退や世界経済の減速懸念などを背景に、米国債券市場では金利は低下に転じました。

#### ○為替相場

米ドルは対円で上昇(円安)しました。

当作成期前半の米ドル円は堅調に推移しました。米中貿易摩擦の解決期待に伴う市場のリスク回避姿勢の後退や、FRB(米国連邦準備制度理事会)による継続的な利上げの実施などが、米ドル高円安要因となりました。2018年12月から2019年1月にかけて、景気減速が懸念される中で円高が進行する場面も見られたものの、当作成期全体で見ると、米ドル高円安が進行しました。

#### ◆前作成期末における「今後の運用方針」

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保 することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態で高位に維持します。

#### ◆ポートフォリオについて

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保 することをめざして運用を行いました。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態で高位に維持しました。

#### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

#### 《今後の運用方針》

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態で高位に維持します。

#### ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

#### ■1万口当りの費用の明細

, , , , , , , , , , , , , , , ,	> -> 3-1-m		
項		当	期
売買委託手数料			一円
有価証券取引税			_
その他費用			1
(保管費用)		(	1)
(その他)		(	0)
合	計		1

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の 項目の概要をご参照ください。
- (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

#### ■売買および取引の状況

#### 公 社 債

(2018年3月13日から2019年3月11日まで)

			買付額	売 付 額
外国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 35, 478	千アメリカ・ドル 43,574 (8,458)

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
- (注2)()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
- (注3)単位未満は切捨て。

#### ■主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2018年3月13日から2019年3月11日まで)

<u> </u>			期		
買			売 付		
銘 柄	金	額	銘 柄	金	額
		千円			千円
United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2.125% 2021/8/15		384, 471	United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2. 375% 2024/8/15		464, 718
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3.625% 2021/2/15		335, 251	United States Treasury Note/Bond(アメリカ)1.625% 2022/8/15		438, 756
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.5% 2023/8/15		323, 595	United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2.625% 2020/8/15		380, 235
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2023/2/15		323, 289	United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2.75% 2028/2/15		360, 774
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/2/15		316, 319	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2022/2/15		350, 183
United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2.875% 2028/5/15		300, 460	United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2.75% 2024/2/15		294, 044
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2. 25% 2027/8/15		300, 460	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3.625% 2020/2/15		283, 159
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3.625% 2019/8/15		269, 511	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2026/8/15		246, 512
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2. 25% 2027/2/15		250, 727	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2026/2/15		209, 209
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/8/15		223, 972	United States Treasury Note/Bond(アメリカ)2.75% 2023/11/15		106, 475

- (注1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。
- (注2) 単位未満は切捨て。

#### ■組入資産明細表

#### (1) 外国(外貨建)公社債(通貨別)

作 成 期	当		期	末				
□ A	区 分 額面金額 -		評 価 額		うちBB格 以下組入	残存期間別組入比率		
分	胡田立朝	外貨建金額 邦貨		組入比率		5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	85, 798	84, 877	9, 417, 168	98. 5	_	47. 3	30. 8	20. 4

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
- (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
- (注3)額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
- (注4) 評価額および格付情報については金融商品取扱業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

#### (2)外国(外貨建)公社債(銘柄別)

		当		期		末				
区	分	銘 柄	種 類	年利率	額面金額	評 個	<b>額</b>			
	)]	파다 11건	1 1	十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十		外貨建金額	邦貨換算金額	関歴十月日		
   アメリ:	+	Liebert Claire Trees on Nation (Dec		%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	2010 /05 /15		
1 7 7 9.	/)	United States Treasury Note/Bon		3. 1250	1, 996	1, 998	221, 724	2019/05/15		
		United States Treasury Note/Bon		3. 6250	2, 986	3, 000 2, 118	332, 886	2019/08/15		
		United States Treasury Note/Bon		3. 3750 3. 6250	2, 107 1, 663	2, 116 1. 679	235, 076 186, 332	2019/11/15 2020/02/15		
		United States Treasury Note/Bond United States Treasury Note/Bond		3. 5000	1, 769	1, 679	198, 462	2020/02/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 6250	709	710	78, 779	2020/03/13		
		United States Treasury Note/Bon		2. 6250	2, 426	2, 430	269, 700	2020/06/15		
		United States Treasury Note/Bon		3. 6250	3, 794	2, 430 3. 876	430, 066	2020/11/15		
		United States Treasury Note/Bon		3. 1250	1, 968	1, 995	221, 410	2021/02/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 1250	3, 437	3, 410	378. 383	2021/03/13		
		United States Treasury Note/Bon		2. 1230	2, 173	2, 148	238, 372	2021/00/13		
		United States Treasury Note/Bon		2.0000	1, 287	2, 146 1, 271	141, 063	2021/11/15		
		United States Treasury Note/Bon		1. 7500	2, 617	2, 563	284, 366	2022/02/13		
		United States Treasury Note/Bon		1. 6250	2, 287	2, 303	246, 574	2022/03/13		
		United States Treasury Note/Bon		2. 0000	4, 162	4, 094	454, 339	2023/02/15		
		United States Treasury Note/Bon		1. 7500	2, 469	2, 401	266, 487	2023/05/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 5000	3, 131	3, 139	348, 332	2023/08/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 7500	1, 692	1, 715	190, 308	2023/11/15		
		United States Treasury Note/Bone		2. 7500	1, 563	1, 585	175, 879	2024/02/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 5000	2, 309	2, 313	256, 721	2024/05/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 3750	255	253	28, 168	2024/08/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 2500	2, 389	2, 361	262, 014	2024/11/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 0000	4, 042	3, 933	436, 441	2025/02/15		
		United States Treasury Note/Bon	国債証券	2. 1250	1, 920	1, 879	208, 497	2025/05/15		
		United States Treasury Note/Bon	国債証券	2. 0000	3, 779	3, 665	406, 730	2025/08/15		
		United States Treasury Note/Bon	国債証券	2. 2500	1, 878	1, 847	204, 978	2025/11/15		
		United States Treasury Note/Bon		1. 6250	1, 573	1, 483	164, 557	2026/02/15		
		United States Treasury Note/Bon		1. 6250	1, 881	1, 769	196, 337	2026/05/15		
		United States Treasury Note/Bon		1.5000	1, 756	1, 632	181, 098	2026/08/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 0000	2, 550	2, 451	272, 024	2026/11/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 2500	3, 105	3, 035	336, 772	2027/02/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 3750	2, 460	2, 425	269, 096	2027/05/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 2500	3, 050	2, 972	329, 829	2027/08/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 2500	2, 375	2, 311	256, 465	2027/11/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 7500	1, 150	1, 163	129, 096	2028/02/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 8750	2, 655	2, 711	300, 852	2028/05/15		
		United States Treasury Note/Bon		2. 8750	230	234	26, 060	2028/08/15		
		United States Treasury Note/Bon		3. 1250	1, 750	1, 824 454	202, 398	2028/11/15		
	\$5+∓*b	United States Treasury Note/Bon		2. 6250	455	454	50, 478	2029/02/15		
合	計。銘柄数	39銘材	<u> </u>		05 700	04 077	0 417 100			
	金額			<u> </u>	85, 798	84, 877	9, 417, 168			

<sup>(</sup>注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

<sup>(</sup>注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

#### ■投資信託財産の構成

2019年3月11日現在

項目	当 期	末
	評価額	比 率
	千円	%
公社債	9, 417, 168	98. 5
コール・ローン等、その他	138, 954	1. 5
投資信託財産総額	9, 556, 122	100. 0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.95円です。
- (注3) 当期末における外貨建純資産(9.540,752千円)の投資信託財産総額(9.556,122千円)に対する比率は、99.8%です。

#### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年3月11日現在

項目	当 期 末
(A)資産	9, 556, 122, 229円
コール・ローン等	94, 192, 649
公社債(評価額)	9, 417, 168, 173
未収利息	42, 856, 368
前払費用	1, 905, 039
(B)負債	_
│(C)純資産総額 (A − B)	9, 556, 122, 229
元本	7, 633, 535, 596
次期繰越損益金	1, 922, 586, 633
(D)受益権総口数	7, 633, 535, 596□
1万口当り基準価額(C/D)	12, 519円

- \*期首における元本額は9,319,773,536円、当作成期間中における追加設定元本額は180,520,227円、同解約元本額は1,866,758,167円です。
- \*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ 米国国債ファンドーラダー10- (為替ヘッジあり) 4,675,830,155円、ダイワ米 国国債ファンドーラダー10- (為替ヘッジなし) 2,957,705,441円です。
- \*当期末の計算口数当りの純資産額は12,519円です。

#### ■損益の状況

当期 自 2018年 3 月13日 至 2019年 3 月11日

	,,,	<u> </u>
項目	当	期
(A)配当等収益		252, 303, 481円
受取利息		252, 340, 870
支払利息		37, 389
(B)有価証券売買損益		522, 720, 828
売買益		565, 887, 690
売買損	$\triangle$	43, 166, 862
(C)その他費用		1, 131, 882
(D)当期損益金 (A+B+C)		773, 892, 427
(E)前期繰越損益金		1, 508, 356, 266
(F)解約差損益金		399, 141, 833
(G)追加信託差損益金		39, 479, 773
(H)合計 (D+E+F+G)		1, 922, 586, 633
次期繰越損益金(H)		1, 922, 586, 633

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。